

産業能率大学 情報マネジメント学部

ビジネス統計入門	履修年次	2	
	単位	2	
勝間 豊、足立 絵里子、和泉 正明、小田 真由美、神戸 正志、清原 悠、田中 慎太郎、丹羽 恵理子	配当期	前・後	
	授業方法	演習 / 対面	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>運営方法は、講義とExcelを使用した演習の混合形式で実施する。Excelの操作は事前課題に於いて十分に行うものとする。講義では、主に統計的な基礎知識の理解、基礎知識に基づいた統計処理によって得られる結果の理解、演習ではデータを基に自ら統計処理を行い得られた結果についての解釈を2段階となる。講義と演習の両方を通じてビジネスの場面で応用できるデータ分析の方法を身に付ける。また同時に、分析によって得られた統計量の意味を理解し、実際のビジネスに応用できる能力を養っていく。さらに、総合演習では大規模データに負けない自信を身に付けるとともに PBL(Problem Based Learning) 的な統計の実践スキルの理解と定着を目指す。主体的かつ積極的に参加する姿勢が不可欠となる。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・活用事例や演習課題を通じて、統計リテラシーを身に付けることの重要性について説明することができる。 ・統計を扱う際に必要となるルールなどの基礎知識を体系的に理解し、様々な場面で活用することができる。 ・統計の考え方やそのプロセスを学ぶことにより、ビジネスにおける位置づけと役割について説明することができる。 			
成績評価の方法			
全授業への出席を前提とする。毎回の授業内容に関して講義とExcelによる演習をおこない、その結果を評価したうえで定期試験、課題提出、授業外学習、授業参画を総合的に評価する。			
週	授業項目	週	授業項目
1	ガイダンス	8	回帰分析の応用
2	グラフの読み方とデータの種類	9	母集団と標本①
3	データの区分と平均値	10	母集団と標本②
4	基本統計量の種類と意味	11	正規分布①
5	データの散らばり	12	正規分布②
6	散布図と相関関係	13	まとめ
7	相関関係と回帰分析	14	総合演習